



# Nagoya GRAMPUS

## 名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

- 国際会長主題 Let Your Light Shine' 「輝かそう、あなたの光を」  
 アジア太平洋地域主題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」  
 西日本区理事主題 「原点を知り将来に生かす」  
 中部部長主題 「明るく 清く 美しく -よき隣人として (Befriending) -」  
 クラブ会長主題 「楽しむぞ! ワイズ生活のある暮らし」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2023年3月号

### <今月の聖句>

だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

ルカによる福音書 11章 10節

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2022-2023.pdf>

## 2023年3月例会・他ご案内

### @ 3月第1例会/卓話 (担当 早川)

と き: 3月2日(木) 19:00~  
 ところ: 名古屋YMCA/ZOOM配信  
 卓話講師: 中部労災病院 作業療法士  
 元名古屋クラブ 千賀 将氏  
 卓話内容: 「作業療法・回復過程」

### @ 3月第2例会

と き: 3月17日(木) 19:00~  
 ところ: ZOOM配信

### @ 東日本大震災犠牲者追悼式

と き: 3月11日(木) 14:30~  
 ところ: 鶴舞公園 普選記念壇

### @ リーダー感謝会

と き: 3月21日(火・祝)  
 16:00~17:30  
 ところ: 南山YMCAホール

### @ 4月第1例会/東陵クラブ合同例会 (担当 坂口)

と き: 4月15日~16日(土・日)  
 ところ: 日間島 日間観光ホテル  
 15日(土) 13時・河和駅集合  
 1泊2食/17,000円(税抜き)+飲み代

2月例会	例会出席状況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
	在席者	14名	第1例会	11名	当月・切手	-	ニコBOXノート	-
	例会出席者	12名	第2例会	10名	当月・現金	-	感謝ファンド	-
	当月出席率	85.7%	その他	1名	累計	-	累計	-

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

=強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

## 2月第一例会議事録・卓話



開催月日：2月2日（土）18:00～

開催場所：名古屋YMCA & ZOOMハイブリット

参加者：荒川、三井、早川、坂口、阿部、服部、  
高田、遠藤、松原、原+メネ

欠席者：吉田、下村、信田

進行：阿部  
書記代行：三井

・ワイズソング斉唱後、議事進行。

### 1. 卓話 講師：原晃ワイズ

表題：「ニューギニアで父親を戦争で亡くした  
遺児達のつながり」

- ・ニューギニア戦線戦争遺児の墓参団について説明と以前放送されたニュース番組、記事らを用いて遺児らも高齢となり改めて戦争のむごさを説明。
- ・原さんは現パプアニューギニア独立国でODAの仕事をしてきた経験があり原さんの父親の現パプアニューギニア独立国ボーキンで戦死までの戦地上陸後の1年にわたるジャングル行進の苦行行程の状況説明。（卓話詳細は巻末参照）

### 2. 今後の予定検討（例会、イベント等）

- ・2月第2例会 2月16日（木）午後7時～ ZOOM イギリスに学ぶ 日和田支援 他
- ・2月22日（水）ピンクシャツデー 担当 下村 後日案内予定
- ・2月18日（土）午前11時半～午後2時 南山クラブ解散例会 参加者7名確認
- ・3月2日（木）第1例会 午後7時～ 卓話 早川政人ワイズ担当 リアル&ZOOM

※開催日時変更の予定 開催日については後日案内。

- ・4月15日（土）～16日（日）東稜クラブ合同例会/第1例会 ドライバー坂口功 内容、出席者、移動方法確認 現時点東陵クラブ6名、合計23名の予定

※4月6日（木）第1例会は中止とし4/15の東稜クラブ合同例会を4月第一例会に変更

- ・5月22日（月）～28日（日）30周年記念例会 イギリス訪問 早川、阿部 松原 計9名の予定

### 3. 西日本区、中部より連絡事項

- ・西日本区大会準備委員会準備状況はPRの準備段階

### 4. YMCAより（遠藤主事）

- ・ピンクシャツデーの情報発信について
- ・3/21 リーダー感謝会 16時頃より開催 クラブ支援については別途協議

### 5. 日和田ワイズコーンについて

- ・吉田一誠ワイズから阿部一雄が引き継ぐ 250円→300円/本+運賃 少しずつ数を増やす 今年度目標600本、可能なら800本売りたい 日本区の方々にも案内出す 買取保証無

### 6. その他

- ・特に無し

### 7. 次期会長役員出研修会

- ・次期会長：松原、次期中部主査：阿部 参加費用クラブ補助について会計より後日案内。

### 8. 日和田キャンプ場改修状況報告 荒川

- ・特に無し

### 9. 爺ヶ岳スキー報告 荒川

- ・ゲレンデには雪がたっぷりあり楽しかった。

### 10. 東西合同例会参加者確認 荒川

- ・荒川、吉田の2名参加

### 11. 次期一泊例会7/7-8の予定

- ・蒲郡のホテルでの予定確保の依頼

## YMCAたより

今年も春分の日によりリーダー感謝会を行います。今年は6名のリーダーが学校を卒業します。YMCAのプログラムを共に作ってきたリーダーたちの社会への旅立ちを、共にお祝いしていただくと嬉しいです

「3月の行事」

3月4日土曜日 トルコ・シリア大地震街頭募金

3月21日 リーダー感謝会



名古屋グランパスクラブ  
担当主事 遠藤美恵子

## 東西交流会（元理事等懇談会）

吉田 一誠

第3回東西交流会が2月4日、5日と神戸で行われました。それに引き続き元理事懇談会が開催され出席しました。今までも区大会の折には理事経験者の親睦を目的とした懇談会が開かれていましたが、今回はあらかじめ、理事経験者として今日のワイズへの思い、あなたが考えるワイズの課題、将来のワイズへの夢、次代に託すこと、という3点についてアンケート調査がありこれにテーマをしぼって話をするということでした。

東日本区より12名、西日本区より14名の元理事、現理事及び次期理事が参加、かつての日本区からは森田さんと私の2名でした。アンケートへの回答及び近況報告などをそれぞれ発表し、様々な意見が出されました。その内容については別途西日本区から報告があると思いますのでそれを見てください 懇談会開催の目的は全体としてワイズ会員の減少する現状をいかに改革していくかということでしたが、メンバーの高齢化が進み減少に歯止めがかからないといところが多い反面、新しくチャーターをす

るところもあるようですし、80歳を超える人にも呼び掛けて会員獲得を実現したというところもありました。当然のことながらそれぞれの地域によって事情が異なるために残念ながら統一した指針のようなものは得られませんでした。今後も継続して課題解決に当たる話し合いを続けていこうということが確認されました。

YMCAのボランティアとして働くことは年齢とは関係なくできます。実際老若男女幅広い年齢の多くの人がかかわっています。これがYMCA運動のユニークな点でもあります。この様な人たちにいきなりワイズと呼びかけてもうまくいかないことは今までも経験してきました。この様な中でわがグランパスは、あまりワイズにこだわらずとにかくYMCAにみんながかかわることのできるボランティア活動を絶やさないことに重点を置いて活動をしてきたように思います。しかしながら今の延長上ではいずれメンバーの高齢化による活動の停止は避けられません。

先日、2月18日に南山ワイズの解散例会が行われました。前例のない会合でしたが多くの参加者が集い、私たちの将来にとって進むべき道を示す示唆に富んだものでした。2月に行われた2つの会合を通じて、みつかる、つながる、よくなっていくというスローガンを改めて思いだしました。まだまだ探せる道は多いのではと強く感じました。



荒川恭次

吉田さんが元理事等懇談会について報告されたので、私は東西交流会その他について報告します。参加者は東西日本区より430名、奉仕活動団体（ロータリー、ライオンズ、キワニス）より160名の計600名弱により、「奉仕活動団体フォーラム」から開始されました。戸所ワイズの軽快な司会により各団体の活動状況説明に始まり、悩み、展望等について多くの意見が交わされました。最後には4団体が協働して活動できるよう各地域で話し合いを持つような結論に至り、初めての試みとしては大成功ではないかと思いました。中部においてもロータリー、ライオンズより声掛けがあるやもしれません。

そして、東西交流会本体は、第1日目は「東西日本区25周年の歩み」「ラオスプロジェクトの発表」「アジア太平洋地域事業の紹介」そして夕刻には盛大な懇親会で対面交流を大いに楽しみました。ワイズ活動の楽しみの一つは交流です。各地域のワイズと懇親を計り地域文化の違いを超えて芽生えた友情を育てることは、生きていくことの喜びも増すことだと思います。

翌日は早天礼拝に始まり、各自希望した分科会に分かれて楽しみました。最後にIBC、DBC締結式が執り行われ、2日間の楽しい充実した企画は終結しました。その後昼食会を兼ねて元理事懇談会が行われたことは吉田さんの報告の通りです。

区大会だけではなかなかお会いすることができない仙台青葉城クラブの加藤さん、仙台広瀬川クラブの清水さんとも対面で握手でき、神戸発の東西交流会の意義は十分汲み取れたと思います。



いまや定番のフラダンスチーム



DBCヘキサゴン（6クラブ）締結式

## 南山ワイズメンズクラブ 設立50+2周年記念例会



開催月日：2月18日（土）11:30～

開催場所：ラ・スース ANN

参加者：荒川、早川、服部、高田、松原、下村、吉田

服部庄三

今年度をもってクラブを解散する、南山クラブの解散例会が開催されました。まず会場の中の教会での西村牧師による礼拝に始まり、川本名古屋 YMCA

理事長、中村総主事の挨拶のあと、荒川文門会長より感謝と解散に至る経過等が話されました。52年間の活動に対し多くの仲間に支えられ活動できたことの感謝を述べられ、解散に至る経過として、ワイズメンとしての義務が果たせなくなってきていることで今回の決断に至ったと話されました。

今後はワイズを離れますが、全員が名古屋 YMCA への奉仕、協力は続けることも報告されました。南山農園での奉仕も引き続き行いますので、是非みなさんも協力して欲しいとのこと。ワイズを離れても名古屋 YMCA を通しての繋がりは今後も続きます。皆で大いに楽しく奉仕に頑張りましょう。引き続いての懇親会は約 40 名の参加で、大いに盛り上がり楽しい一時を過ごしました。



## 東陵クラブ有志との蟹ツアー

### 「まちにまった鳥取カニ食いツアー」

松原 好伽

2月11、12日と東陵クラブさんとの3年越しのカニ食いツアー催行！1日目は近藤兄に紹介された湯村温泉リフレッシュパークへ向かう。温泉好きのパートナーには打って付の場所である。



混浴露天風呂には水着着用。早速カバンから水着を出す。滝打たせ湯・酒樽風呂・洞窟風呂 etc. 大満足！温泉の前のステー

キハウスでランチ。シェフが目の前の鉄板で焼くの

を見てびっくり！メニューを見て2度ビックリ。12,000円？ここは但馬牛で松坂牛や佐賀牛の素牛だそう。何とか3,300円の焼肉定食を頂いた。大満足！それから皆の待つまつむら旅館に向かう。久々の東陵の方々、新メンバーの河村夫婦もみえ羨ましい。グランパスにも新会員が増えると良いなあ。



女子はワイワイガヤガヤ相部屋の5人。あっという間に夕食。みんなカニを

夢中で無言で食べる。カニみそ・なべ・焼きガニ・刺身・はカニ雑炊。食べきれずに残った姿ガニはお土産になった。次の日は海鮮市場で12人の集合写真。



東陵の方々は昨夜食べた珍しいモサエビや大きなシジミをお土産に買われた。私達は神戸にも寄るので生ものはNG。羨ましかったが・・・それから皆で鳥取砂丘の砂の美術館に寄った。が、改装中で入館できず。でも写真パネル展示室は見学でき良かった。クーポン利用でお土産もゲットし帰路の無事を祈りつつ三々五々。兎に角ここまでは大満足!! ところが松原家にはその後おそろしい事件が起きることを誰も知らない・・・?!

## 2月第二例会議事録



ピンクシャツデー参加様式です

開催月日：2月16日（木）19:00～

開催場所：ZOOM 配信

参加者：荒川 三井 早川 阿部 遠藤 吉田  
高田 服部 松原

欠席者：信田 原 坂口

進行：阿部  
書記代行：三井

### 1. 今後の予定検討（例会、イベント等）

- ・2月18日（土）午前11時半～午後2時  
南山クラブ解散例会 参加者確認
- ・2月22日（水）ピンクシャツデー 担当 下村  
何かしらピンク色の着衣、持ち物等での写真撮影  
遠藤連絡主事へ配信する。
- ・3月3日（金）午後7時～ 第1例会 卓話  
担当/早川 リアル/ZOOM  
YMCA 本館より元名古屋クラブ千賀氏の卓話配信  
（前津クラブの千賀ワイズの息子さん）
- ・卓話内容「作業療法のリハビリ」  
現在は 中部労災病院 中央リハビリテーション部  
作業療法士に着いておられます。作業療法について  
のお話をして頂きます。  
作業療法とはと、回復の過程等を教えて頂きます。  
これから、お役に立つ事を願い、卓話にしました。  
是非、対面でも大歓迎ですので出席を希望します。
- ・3月第2例会 3月16日（木）午後7時～ ZOOM  
イギリスに学ぶ 日和田支援 他
- ・3月21日（火・祝）リーダー感謝祭 担当 信田  
16時より開始
- ・4月6日（木）午後7時～ 第1例会/卓話  
担当 三井 リアル/ZOOM
- ・4月15日（土）～16日（日）東稜クラブ合同例会  
第1例会/日間賀島 ドライバー坂口  
内容、出席者、移動方法確認  
※4月6日（木）第1例会は中止とし、東稜クラブ  
合同例会に変更開催
- ・5月22日（月）～28日（日）30周年記念例会  
イギリス訪問

### 2. 西日本区、中部より連絡事項

西日本区大会準備委員会準備状況

- ・19日に役員会開催 ポスター等について協議予定

### 3. YMCA より（遠藤主事）

- ・感謝会でのプレゼント品（1000円程度）×7人分  
の手配を遠藤連絡主事さんに依頼

### 4. 日和田ワイズコーンについて

- ・担当を吉田から阿部が引き継ぐ  
250円→300円/本+運賃 少しづつ数を増やす
- ・今年度目標600本、可能なら800本売りたい  
日本区の方々にも案内出す 買取保証無

### 5. その他

一泊例会の開催日を7/8から9日に変更決定

### 6. 日和田キャンプ場改修状況報告

雪で閉鎖中

### 7. 東西合同例会報告

荒川

- ・ロータリー、キワニスら他4団体で今後、別の活動  
の模索を考えるとの意見が出る
- ・430名の参加があり、有意義な会となった。
- ・吉田君より後日、ブリテン原稿として投稿依頼

### 8. 研修会参加予定 松原 阿部

次期会長松原君か不参加

### 9. 東稜クラブとの鳥取蟹ツアー報告

12名参加 松原君にブリテン向け原稿依頼

### 10. メンバー近状報告

参加メンバー各自より近状報告

### 11. 3月号ブリテン原稿依頼

第二例会/三井 蟹ツアー/松原  
YMCA たより/遠藤 南山解散例会/服部  
東西交流/吉田

## 現在の日和田キャンプ場

2月21日の日和田キャンプ場です。表玄関の駐車場は除雪してありますが、メインロッジに向かう道は積雪50～60センチです。雪洞キャンプするなら今がチャンスです。スノーシューかスキー履いて、さあ行こう！



- ・ 4月15～16日(土・日)  
第一例会/東陵クラブ合同例会
- ・ 5月22～28日(月～日)  
30周年記念例会/イギリス訪問

その他

1. 3月の誕生日

happy birthday

3月 11日 (服部 智子)  
3月 16日 (吉田 聡ま子)



2. 例会等出席状況

氏名	2 / 2 第一例会・卓話	2 / 16 第二例会	2 / 18 南山クラブ解散例会	2 / 4 5 東西日本区交流会
1 阿部 一雄	○	○		
2 荒川 恭次	○	○	○	○
3 遠藤恵美子	○	○		
4 坂口 功祐	○			
5 信田伊知郎				
6 下村 明子		○	○	
7 高田 士嗣	○	○	○	
8 服部 庄三	○	○	○	
9 早川 政人	○	○	○	
10 原 晃	○			
11 坂野清治(休会)				
12 松原 行謙	○	○		
13 三井 秀和	○	○		
14 吉田 一誠		○	○	○
ゲスト	1			
計	11	10	6	2

NG(ニューギニア)で父親を戦争で亡くした遺児達の繋がり

- 2010年代、国は戦争遺児による墓参団を企画。遺児とは言っても其の頃すでに70歳を越える超高齢遺児であった。存続が難しくなった日本遺族会は、会の存続を賭けて募集者を集めた。私は、高校卒業後、上京、進学、その後海外生活。従って、遺族会とは縁が薄く、この話を知った2016年厚労省のHPで申請した。
- 参加者は、父親の情報を書類にして提出(戸籍等々)  
私の父は島ニューギニアのポイキンで戦死(公報)父の所属した東部ニューギニアで申請し、認められた。一週間余りの参加費用10万円。旅費宿泊・食事他の費用は、全て厚労省持ち。
- ニューギニアと私の関係について  
1970年、材木船に乗りニューギニアに行った人を知り新聞記事から、其の人にコンタクト。彼中心の墓参団に参加した。墓参団と別れた後一週間、ポイキン村に滞在。そこでPNG滞在を決意。帰国後、日本でPNGでの求職運動。73年、独立準備中のPapua New Guinea (PNG)新政府で就職した、従って、父の行軍したニューギニア北海岸(一部空路)は、良く知ってが、厚労省墓参団参加のお陰で父の所属部隊の経路、期時期等を知った。戦死公報によれば父は、S19年12月31日、戦死であった。
- 厚労省主催の墓参団に参加して、自分と同じ様な或いは、様々な苦勞をした人達に会えた。団員は、厚労省の資料、自分が見聞きした父親達の想像を絶する苦勞 惨めな最後を実感できた。  
多くが、18年後半から20年初めの戦死であった。
- ニューギニア部隊の悲劇 (S18年中頃から)  
殆どが、S18年の初頭に召集され、比較的老齡兵であった。中国戦線の日本軍は、一部の兵が任期長引いたという軍の都合で、急に太平洋進出を決め、一旦兵を南に移動させた後、新旧交代させ、所謂補充兵としてラバウルで新旧の兵隊達は交代した。
- 新しい兵達(父達)は、ラバウルから、平底舟でニューギニア本島へ渡る途中、多くは連合軍の空襲で死んだ、私が聞いた所では、父達の舟も、一旦沈没し、命ががら小さな島にたどり着いた。そこで舟を乗り換えて、本島に渡った。
- が、本当の悲劇はそれからであった。ニューギニア本島に渡った時から、日本からの補給は、絶たれたのであった。後、19年初頭まで日本からの補給が無くなってしまった。  
この状況で、食糧は自分たちで探すか村人達に頼るしかない死の行軍であった。NG島は、日本の国土の2.5倍、その半分が東部ニューギニアであった。島にはセピック河という自然のデルタ地域に世界的な長大な河が横たわる。幅も数十キロ、ワニも住む

河である。飛行機から見ても、この地を歩いて渡ったとは信じられない。この道なき道、ジャングル。連合軍の艦砲射撃をさけながらの行軍である。食糧は、自然豊かな村であったが、食糧は住民が必要とする量しか無い。そこに5万人を越える非生産人口が加わる。最後は駐屯と称し、食糧自給のためポイキンの近くで、駐屯した。

#### 8. 軍隊の体をなさない部隊

それでも、日本軍は、連合軍の本土決戦を邪魔するとの名目で、この軍とは、言えない5万人程の部隊に100キロ以上先のインドネシア領国境まで行軍、を命じた。この部隊は、そこで、散々な目に遭った。この後、この戦いを生き延びた敗残兵は、ポイキンの近くまで戻り、そこで、戦争が終わる20年8月まで滞在した。戻れたのは7割位であった。

#### 9. 敗残兵の最期

兵隊達は、この土地に限られた、村の食糧を分けて貰う存在になった。村人のお世話になるか自活であった。私の父は、公報では、国境での戦いのあと、ポイキンに戻り19年12月31日、戦死した。最後は、ポイキンにあった、野戦病院（ニツパ椰子）で、恐らくは餓死したか、マラリアで死んだと思う。栄養不足により、マラリアにかかるか、餓死した。このような状況を現地で見聞きした遺児たちは、父達の想像を絶する惨めな死を想像し、若い人たちに同じような経験をしないよう、戦争をしてはいけないと誓い合った。

この旅を契機に、残された我々にできることは、この事実を語り継ぐことだと確信した。丁度、ロシアが理由もなく、ウクライナを侵攻し始め、日本も怪しい空気が立ちこみ始めた頃である。

ロシア以上に自国の兵隊にたいする、人権の無さの扱いへの反省もなく、餓死を戦死と称して靖国に祭るといふ、態度は、今の政権も変わらない。自衛隊員の扱いも変わると思えない。これでは、近隣諸国の人々の日本への不信感も理解できる。

若い人達に1番伝えたいことはこの国は、自国の兵隊をさえ食糧を補給できないまま、戦地においたまま虫けら以下の扱いをして、戦争が終わると戦死者として、靖国に祭るといふ、我々遺族に、戦争の記録、何故敗戦に至ったのか、兵隊達にどのような扱いをしたのか、お詫びどころか、説明もなく、次の戦争に向かおうとしているという事実です。80才を迎えようとしている遺児は、そのことを思うと、死にきれません。



鹿児島県の吉井さんの活動（TV）「PNG 墓参団」について（別に95メガのMP4ファイル有）

#### 中日新聞の記事の余談

中日新聞を読んだ、名古屋市港区に住む富田往子さん。自分の父は、ニューギニアで戦死したと聞いていたが、親族も少なく、どこで死んだかも、知らなかった。80歳に近くになり、時々父親のことを思う頃であった。東部ニューギニアの話を読んで、自分と同じような境遇のひとがいたのかと思い新聞社を通じて私のところに連絡。富田さんの出征時期、死亡時期から言って、同じ仲間であることが分かった。其の後我が家との連絡が始まり、次の会には参加したいとのこと、会員に諮ったところ、今回は、ぜひこの事である。子生活である。若い頃は、「冬ソナ」のファンで、追っかけるしたり、何回も韓国旅行をしたそうである。彼女には、暗いイメージは一切無く明るいお婆ちゃんである。我々の会に興味を持ち、次回の集まりには是非、参加したいとのこと。ご主人とは、伊勢湾値風で三河湾が被害を受けたとき、浜松の高校生だったご主人と、被災者の女子高生だった澄子さんが高校と中学の交流が始まり、その結果、結婚まで繋がった。ご主人の方は、兄弟が多く住子さんはひとりっ子だったので、ご主人が養子になり、結婚したという2人である。今でも、仲が良く、日常生活は勿論、外出もご主人が車同伴可能なので、我々の会に参加は可能である。我々の会の会員にこの件を伝えたところ、歓迎する事になった。

